



みみだより

松江ろう学校 支援部

No. R4-2 2022. 7. 20

今回のみみだよりは、「夏の補聴器管理・人工内耳の管理」「幼稚部の自立活動の紹介」と先生方からの問い合わせがあった2点「人工内耳関連用具の購入」、「ダンパーって何？」をお伝えします。

夏の補聴器・人工内耳の管理

気温が上がり、汗をたくさんかく季節。大切な補聴器や人工内耳の故障を予防するために、普段からの適切な管理が不可欠です。補聴器・人工内耳の管理について改めて確認していただけたらと思います。

①補聴器・人工内耳の汗対策 ※補聴器・人工内耳に汗がつき、内部に入ると故障の原因になります。

●汗をふき取る

汗をかいた後は必ず、耳の後ろの汗をふきましょう。補聴器・人工内耳についた汗も、乾いた布で拭き取りましょう。

●乾燥させる

使わない時は乾燥ケースに入れて保管しましょう。

※電池は取り出し、電池ドアを開けたまま入れましょう！



●カバーを使う

補聴器や人工内耳用のカバーをつけることも有効です。布のカバーの場合、カバーが濡れたら、カバーを外すか乾いたカバーに替えるようにしましょう。

(濡れたカバーをそのままつけておくと、大変な湿気の中に補聴器を入れていることになり、カバーを使う意味がなくなります。)

②補聴器・人工内耳のお手入れ

●本体

汚れは、乾いた布等で拭き取ります。



電池に汗がつくことで、電池が錆びることがあります。電池もきれいにしておきましょう。

●イヤモールド

表面の汚れはティッシュ等で拭き取ります。イヤモールドの中は、綿棒や歯間ブラシ、ティッシュをこよりにしたものを使って汚れや水分を取り除きます。

定期的に水洗いをしましょう。水洗い後は、チューブの中にたまった水をすべて吹き飛ばし、まだ残っている場合は、綿棒やティッシュをこよりにしたものを使って取り除きます。

表面はタオル等でふき、しっかりと自然乾燥させましょう。

幼稚部の自立活動の紹介～おはようタイム～

幼稚部では、毎朝、帯の自立活動として「おはようタイム」という活動をしています。この活動では、うたを歌ったり、エレクトーンの曲に合わせて身体を動かしたりしています。「おはようタイム」では次の6つのねらいを持って取り組んでいます。



○おはようタイムのねらい

- 身体を動かし、心身の目覚めと体力作りを図る。
- 見本を見たり歌詞カードを見たりして手話を使って歌う。
- 聴覚を活用してメロディ、リズム、テンポ、拍などを聞き分ける。
- エレクトーンの曲と動きを結びつけて身体を動かす。
- いろいろな身体の動かし方を知りボディイメージを育てる。
- 集団での活動に楽しく参加する。



これらのねらいのもとに繰り返し取り組むことで、子ども達は、前に出て、好きな歌を友だちや先生達に聞いてもらう時は、声を出しながら手話を使って歌っています。リズムの聞き分けでは、「とんぼ」や「かえる」など8つの曲を聞いて、何の曲かを答えることができるようになってきました。また、それぞれの曲で“上手に”を意識して動かそうとしたり、苦手な動きに挑戦したりしてしっかり身体を動かして遊ぶ姿が見られるようになりました。

人工内耳の用具購入に関する助成について

人工内耳に関係する用具を購入する際には、「日常生活用具の給付」を申請することにより、助成を受けることができます。原則として費用の1割と、基準額を超えた場合はその部分が利用者負担になります。申請方法や耐用年数、また、世帯の収入により上限額があるなど、詳細は市町村によって異なるので、調べてから利用しましょう。

(例) 松江市

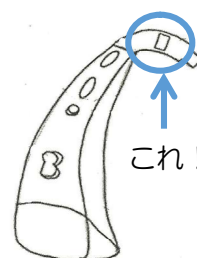
用具名	耐用年数	基準額
人工内耳体外器	5	200,000
人工内耳空気亜鉛電池	1	20,000
人工内耳充電式電池	1	10,000
人工内耳充電器	3	25,000

ベントとダンパーって何？



聴力測定用の紙にベントとダンパーの有無を書き込む欄がありますが、このことについてよく質問を受けます。今回は、ダンパーについて説明します。

ダンパーは、耳かけ型補聴器のフックの中にある小さな筒状のものです。出過ぎた音を弱める効果があるので、ダンパーが入っていると、補聴器



からの音が少し柔らかい感じに、ダンパーが入っていないと、音の刺激が少し強い感じになります。音の聞こえ方には好みがあるので、補聴器の購入時に聞き比べてみるとよいですね。

参考：第9回東北教育オーディオロジー研究協議会研修会資料